

建設情報 *Iwate*

川原川 かわまちづくり計画を公告

排水機場と護岸の設計 申請期限は10月11日

県沿岸広域振興局大船渡審査指導監は27日付で、簡易総合評価落札方式の「二級河川川原川筋ほか砂盛地区ほかかわまちづくり計画策定(河川施設概略設計)業務委託」を公告した。申請期限は10月11日正午。入札日時は同月24日の午前9時から午後5時まで。開札は翌25日を予定している。(関連7面)

同業務は、県の復興の象徴の場である高田松原津波復興祈念公園などと一体となって復興かわまちづくりが進められてきた気仙川と川原川(古川沼)の水辺空間にお

いて、民間の取り組みがより効果的となり、にぎわいの創出、多様な主体の参加・協働・交流の場として不可欠である基盤整備を進めるため、観光客の安全で快適な周遊に資する護岸や樋門の整備に係る概略設計などを行うもの。

業務実施場所は、陸前高田市気仙町字砂盛地内ほか。

業務内容は、護岸概略設計100延と排水機場予備設計1基。このうち、護岸概略設計は川原川親水護岸など(旧マリナ周辺)で実施。現況施設(護岸・突堤)が公園施設として活用可能か否かや、

審査
指導
監渡

撤去・改修が必要な施設の有無の確認を行うほか、水辺のレクリエーションの拠点として、親水護岸などの整備に加え、利活用の中心となる施設や広場スペースなどとして利活用していくことを踏まえ、設計の基本事項(基本方針、ゾーニング、導入施設、動線、空間構成、維持管理方法等)を検討。基本計画図、パースを作成し、概算工事費を算出する。

排水機場の設計は、気仙川水門上流右岸(旧気仙川中学校付近)で、河川排水機場、土留工の予備設計を実施する。

履行期限は、23年3月15日まで。入札参加資格には、土木関係建設コンサルタント業務に登録され、河川、砂防および海岸を申請業務としている者で、岩手県内に本店または営業所を有すること、などを付している。

級建築士事務所 サンワ興建

▼6月29日

▽栃ノ都開発代表取締役渡辺俊宮城県大崎市古川旭2丁目3番8号一関市赤荻字鶴巻117番1の一部共同住宅(仮)一関赤荻ⅡA P)新 W 2(枠組壁工法) 260.84㎡ 考設計 丸已建設

▼8月1日

▽栃ノキタ代表取締役社長脇田貞二 大阪府大阪市西区江戸堀一丁目3番20号 一関市山目字十二神21番7の一部ほか 倉庫業を営まない倉庫(仮称)一関営業所)新 S 2 1076.88㎡ 大和ハウス工業北海道・東北流通一級建築士事務所 大和ハウス工業東北支社

▼8月4日

▽栃ノ岩測建設代表取締役岩測隆行一関市藤沢町黄海字箕ノ輪46 同自動車庫(テント上屋)増 S 1 279.14㎡ 一級建築士事務所のまど企画 岩測建設

▼8月22日

▽常磐パッケージ代表取締役社長佐々木岳志 福島県いわき市内郷白水町浜井場23-1 一関市山目字沢内55-3、68-3、68-42、16-1 工場(自動車修理工場を除く)増 S 1 780.11㎡ 菊地啓吾設計企画 三協フロンテア、日成ビルド工業岩手支店

▼8月23日

▽栃ノクリのアオキ代表取締役社長青木宏憲 石川県白山市松本町2512番地 一関市山目三反田224ほか、山目字向野20-4、114-2 物品販売業を営む店舗(一関店)増 S 1 299.35㎡ J e s 設計 未定

釜石市に新事業所を建設 東北電気保安協会 八幡建設が施工を担当

一般財団法人東北電気保安協会(宮城県仙台市、春浪隆夫理事長)は、釜石市中妻町に新たな事業所の建設を計画している。現在の釜石事業所と大船渡事業所を統合する施設で、建設工事は八幡建設が担当、今月着工した。施設は23年6月の完成、翌月の供用開始を目指す。

建設場所は、釜石市中妻町1丁目6番2。県建設業協会釜石支部会館の北側で、敷地面積は1657.77平方延となっている。



事業所が新設される釜石市内の建設地

建築申請

▽建築主、住所、建築場所、用途、構造・階数(W=木造 S=鉄骨造 RC=鉄筋コンクリート造)、面積、設計、施工

県一関土木センター

▼6月13日

▽南平安輸送取締役岩測常男 平泉町平泉字宿41番地16 同41-8、41-9、41-10、41-14、41-15、

41-16および同字高田前124-4、124-9 倉庫業を営まない倉庫(第二貸し倉庫棟別)増 S 1 1398.80㎡ 丸協建設一級建築士事務所 丸協建設

▼6月20日

▽栃ノ鶏代表取締役小野寺修 一関市弥栄字鶴巻23番地 同市花泉町日形字寄合101-1の一部、101-5の一部、101-6の一部 畜舎(鶏舎、菜の花ファーム第2農場)新 W 1 3885.44㎡ サンワ興建一

森林管理道 大松沢線の改築工事など

＝県大船渡審査指導監 工事1件、業務1件公告＝

釜石市 河川改修工事など3件公告

管渠舗装復旧を公告

＝山田町財政課・条件付＝

書類到着は10月11日

公告・予告

県大船渡審査指導監

県沿岸広域振興局大船渡審査指導監は27日付で、総合評価落札方

小鳥谷駅前住宅の屋根・外壁塗装を公告

＝一戸町・条件付＝

式で実施する森林管理道大松沢線改築工事を公告した。入札参加希望者は入札参加申請書を電子入札システムにより10月5日正午までに提出すること。入札は20日を予定している。

▽森林管理道大松沢線改築工事

(簡易2型)

施行地 陸前高田市矢作町字の場地内

工期 2023年3月15日まで

工事内容 林道開設49(351)m、幅員4.0m、林道土工一式、路面工1499.7㎡、法面工165.7㎡、排水構造物工316.6m、防護柵工105.5m、標識工一式、道路付属施設工一式、支障木伐採一式

予定価格 7050万9000円

入札参加資格 土木工事A級資格者で、県南広域振興局(本局、花巻地区、一関地区)、沿岸広域振興局(本局、大船渡地区)の区域に建設業法に基づく主たる営業所を有すること

(7面へつづく)

いわて防災学教室

災害から学び、災害に備える



ももたろう

岩手大学理工学部システム創成工学科助教

松林 由里子

お役に立たないかもしれませんが、ももたろう、

の話をいたします。

むかしむかし、あるところに、おじいさんとおばあさんが住んでいました。昔の話なので、この夫婦は40代くらいだという話です。

おじいさんは山へ柴刈りに、おばあさんは川に洗濯に行きました。

よく言われる通り、ここでいう柴は、燃料用の枯れ枝などで、日本でも長い間、枯れ枝、枯れ葉や、薪、炭などを燃料として暮らしていました。森鴎外の「山椒大夫」で、買われた姉弟が、山へ取りに行かされるのも柴でした。

おじいさんが柴刈りに行った山は、どうやら、おじいさんだけの土地ではなかったかもしれません。入会地、と呼ばれ、村などの共同体で管理する山林で、燃料、生活に必要な材料、山菜、キノコなどを採取するのは、一般的なことだったようです。日本の里山は、燃料を取りすぎるために、植生が失われて、雨による表面侵食が発生しやすい状況であったことも知られています。燃料革命以降、燃料採取が減り、現在、日本の山林は、今までになく緑豊かな状態と言われているそうです。ただ、木々の根元には、落ち葉だけではなく、倒木や落枝が残され、川に流入すると流木となって下流に運ばれていくこともあります。昔ならば、燃料として回収されていたものかもしれません。

さて、おばあさんが洗濯に行った川も、彼女だけの川ではなさそうです。

「人新世の『資本論』」(集英社新書、斎藤幸平著)で、コモンズ(共有財産)の喪失と資本主義の関係について書かれていました。資本主義以前には、共有の土地である入会地が、生活に必要なものを提供してくれ、川もまた、エネルギーと水資源、魚などを提供してくれる共有財産でした。災害をもたらすこともある川ですが、生活に必要な水と、身近な輸送力を提供してくれる存在でした。共有の財産としての管理には、資源を枯渇させるような不適切な

利用をしない、という責任も含まれるようです。

生活のエネルギーを化石燃料に頼るようになったのは、ここ150年くらい、盛岡市では、明治38年、旧宇津野発電所が営業を開始したそうです。燃料革命だけではなく、戦後の植林政策などの影響もあり、日本の山地環境は大きく変化し、雨量の変化もあり、昔とは違う災害の発生につながっているとも言えます。

なかなか話が進みませんが、そろそろ、桃が流れて来てもいいころです。

乗り心地はどうでしょう? 救命艇、津波シェルターのように見えるので、心配です。ももたろうは、乗り物酔いをしていないだろうか。もし、船旅の際、あのオレンジ色の救命艇に乗ることになったら、すぐに、酔い止め薬を飲めと言われました。船酔いがひどいと、助けを待つ間、救命艇に乗っているのも嫌になるし、せっかく飲んだ水分を吐き出してしまいうのは命に関わるからです。酔い止め薬は、服用後、30分くらいで効き始めるようなので、最初の30分を耐える必要があります。

上流からやってくると言えば、一寸法師もお椀の船で川を下って都にたどり着きました。遠野物語でも、川で洗い物をしている人のところに、富をもたらすお椀が流れてきました。

自動車も鉄道も飛行機もなかったころ、人々にとって、川の輸送力は驚異的で、遠い世界とのつながりに思いをはせていたかもしれません。現代を生きる私たちが、川の上流から、ヒーローや富をもたらす何かが流れてくる夢を見ることはもうないかもしれません。それでも、上ってくる鮭を待ち、河川敷でクルマを拾う人に会う季節になり、川のつなぐ世界と、その恩恵を感じます。

※いわて防災学教室のバックナンバーは、岩手大学地域防災研究センターのホームページ「公開情報」で閲覧できます。

2022年度 各種講習・教育のご案内 9月～2月予定表

9月	10月	11月	12月	1月	2月
1 巻上げ機運転業務特別教育(1・2)	1	1 玉掛け業務従事者安全衛生教育	1 ガス溶接技能講習(1・2)	1	1
2	2	2	2	2	2 クレーン運転業務特別教育(2・3)
3	3	3	3	3	3
4	4 小型移動式クレーン運転技能講習(3・4・5 3・4・6)	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6
7	7	7 床上操作式クレーン運転技能講習(7・8・9 7・8・10 7・8・11)	7	7	7
8	8	8	8	8	8
9	9	9	9 フルハーネス型墜落制止用器具特別教育	9	9
10	10	10	10	10	10
11	11	11	11	11	11
12 刈払機取扱作業安全衛生教育	12	12	12 小型移動式クレーン運転技能講習(12・13・14 12・13・15)	12	12
13	13	13	13	13	13
14 床上操作式クレーン運転技能講習(13・14・15 13・14・16)	14	14 天井クレーン定期自主検査者安全教育	14	14	14 小型移動式クレーン運転技能講習(13・14・15 13・14・16)
15	15	15	15	15	15
16	16	16	16	16	16
17	17	17 玉掛け技能講習(15・16・17 15・16・18)	17	17	17
18	18	18	18	18	18
19	19	19	19	19	19
20 高所作業車運転技能講習(20・21 20・22)	20	20	20	20	20
21	21	21	21	21	21
22	22	22	22	22	22
23	23	23	23	23	23
24	24	24	24	24	24
25	25	25	25	25	25
26	26	26	26	26	26
27	27	27	27	27	27
28 玉掛け技能講習(27・28・29 27・28・30)	28	28	28	28	28
29	29	29	29	29	29
30	30	30	30	30	30
31	31	31	31	31	31

学科2日 実技1日	
床上操作式クレーン運転技能講習 つり上げ荷重が5トン以上の床上操作式クレーンを運転する方に必要な資格です。(運転する者が荷の移動とともに移動するクレーン)	小型移動式クレーン運転技能講習 つり上げ荷重が1トン以上5トン未満の移動式クレーンを運転する方に必要な資格です。
学科1日 実技1日	
高所作業車運転技能講習 作業床の高さが10m以上の高所作業車(トラック式、ホイール式、クローラ式)を運転する方に必要な資格です。	学科1日 実技3日 フォークリフト運転技能講習 最大荷重が1トン以上のフォークリフトの運転の業務に就く方に必要な資格です。(道路上を走行させる運転を除く)
クレーン運転特別教育	
小型車両系建設機械特別教育	
高所作業車運転特別教育 (作業床の高さが10m未満の高所作業車の運転に必要)	
アーク溶接特別教育	
フルハーネス型墜落制止用器具の特別教育	
刈払機取扱作業安全衛生教育	
移動式クレーン定期自主検査者安全教育	
天井クレーン定期自主検査者安全教育	
移動式クレーン運転士安全教育	
詳細のお問い合わせ先は…	
公益社団法人 ボイラ・クレーン安全協会 岩手事務所 〒028-3621 紫波郡矢野町広宮沢11-507-8 ☎019)614-9711 FAX (019)614-9712 URL http://www.bcsa.or.jp E-mail iwate@bcsa.or.jp	